

東北地方 1 か月予報

(6月7日から7月6日までの天候見通し)

平成20年6月6日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

1週目は高温の予想ですが、その後は寒気が入り低温となる見込みです。

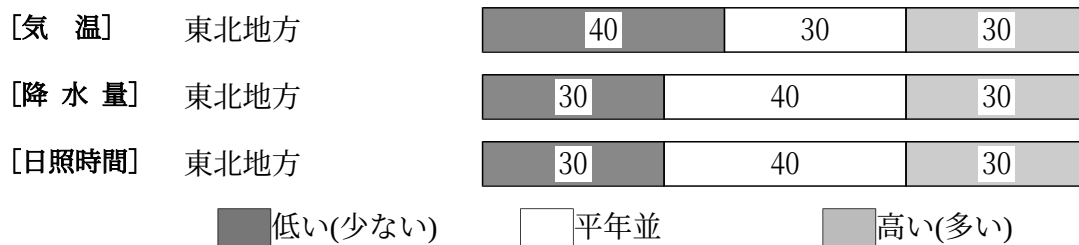
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

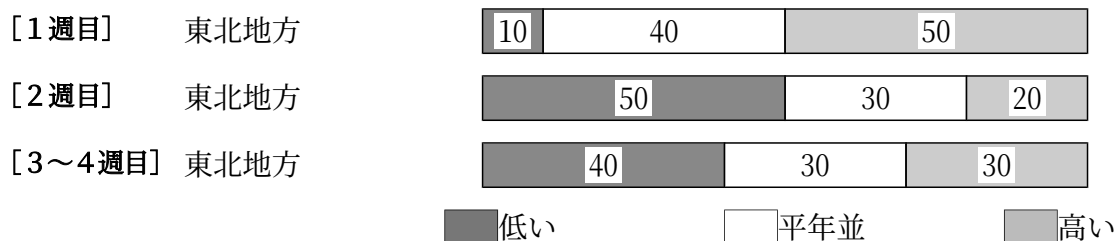
東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は高い確率が50%、2週目は低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月 7日(土) ~ 7月 6日(日)
1週目 : 6月 7日(土) ~ 6月13日(金)
2週目 : 6月14日(土) ~ 6月20日(金)
3~4週目 : 6月21日(土) ~ 7月 4日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は6月13日
3か月予報: 6月25日(水) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	17.7	88.0	175.8	16.5	17.1	18.3
深浦	17.9	118.7	173.2	16.6	17.3	18.6
むつ	16.2	118.5	154.9	15.2	15.7	16.8
八戸	16.8	111.0	162.8	15.8	16.3	17.3
秋田	19.5	150.3	168.9	18.3	19.1	20.2
盛岡	18.8	128.6	142.3	17.8	18.4	19.2
大船渡	17.9	177.2	141.6	16.9	17.5	18.4
宮古	16.6	128.5	134.7	15.7	16.2	17.1
仙台	18.9	155.9	118.0	18.0	18.5	19.3
石巻	18.2	125.0	135.8	17.2	17.8	18.7
山形	20.1	116.6	143.0	19.3	19.7	20.5
新庄	19.3	155.7	142.8	18.3	18.9	19.8
酒田	20.0	153.3	165.2	18.9	19.5	20.5
福島	20.4	134.1	120.3	19.7	20.1	20.7
若松	20.4	138.5	147.4	19.5	20.1	20.9
白河	19.0	184.8	112.0	18.1	18.6	19.3
小名浜	18.9	160.2	128.1	17.9	18.4	19.4

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ～ +0.5	84 ～ 115	94 ～ 107
東北日本海側	-0.5 ～ +0.3	77 ～ 106	94 ～ 105
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.5	86 ～ 107	91 ～ 109

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.5	-0.6 ～ +0.5	-0.4 ～ +0.3
東北日本海側	-0.6 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.4	-0.5 ～ +0.4
東北太平洋側	-0.7 ～ +0.7	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.3

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 6 月 6 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (6 月 7 日～7 月 6 日) :

期間のはじめは、天気は数日の周期で変わるでしょう。その後は、前線やオホーツク海高気圧の影響を受け、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

なお、1 週目は高温の予想ですが、その後は寒気が入り低温となる見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (6 月 7 日～6 月 13 日) :

気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめと中頃は高気圧におおわれて晴れる日があるでしょう。

平均気温は高い確率が 50% です。

2 週目 (6 月 14 日～6 月 20 日) :

天気は数日の周期で変わりますが、一時低気圧や前線の影響を受けるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は低い確率が 50% です。

3～4 週目 (6 月 21 日～7 月 4 日) :

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

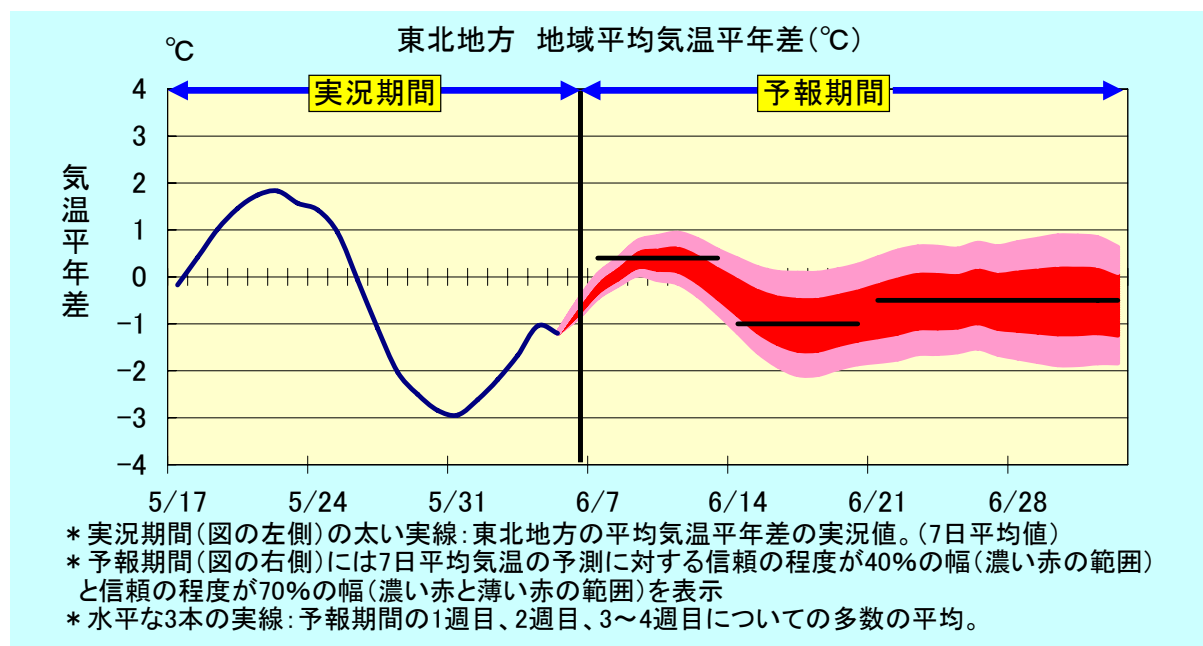
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	12.4 日	3.5 日	3.3 日	5.6 日
東北太平洋側	10.4 日	3.0 日	2.8 日	4.6 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を上回り、2 週目と、3～4 週目は平年を下回る予想となっている。

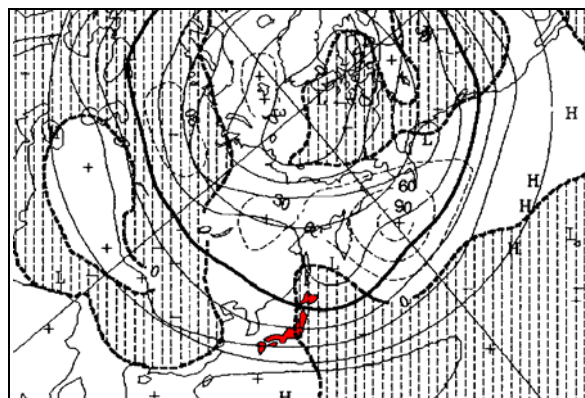


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

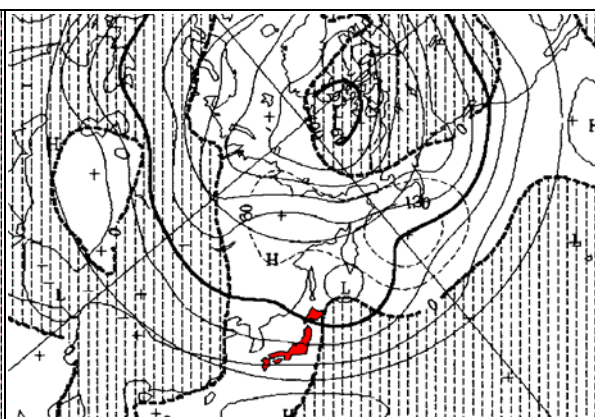
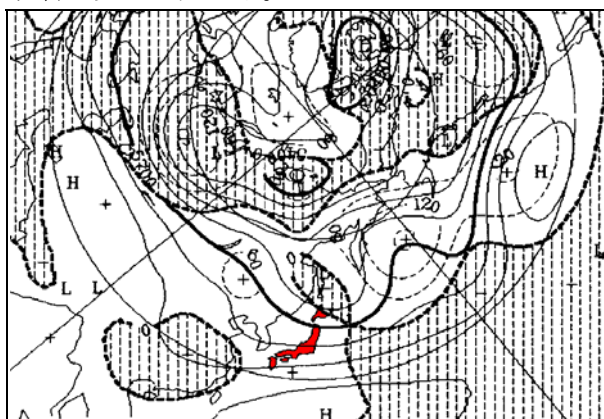
1か月平均: 東日本以西は正偏差だが、日本の東海上は負偏差で、東北地方も弱い負偏差に覆われる。また、東シベリアからオホーツク海付近には偏西風の蛇行が見られる。東北地方は、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期がある見込み。

1週目: 亜熱帯高気圧が日本の南海上で勢力をやや強め、日本付近は西日本を中心に正偏差となる。東北地方も正偏差に覆われて、気温は高めに経過する見込み。

2週目: 日本付近は正偏差だが、日本の東海上に負偏差が広がる。850hPa 気温予想図(図略)では東北地方は負偏差に覆われており、一時寒気の影響を受ける見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

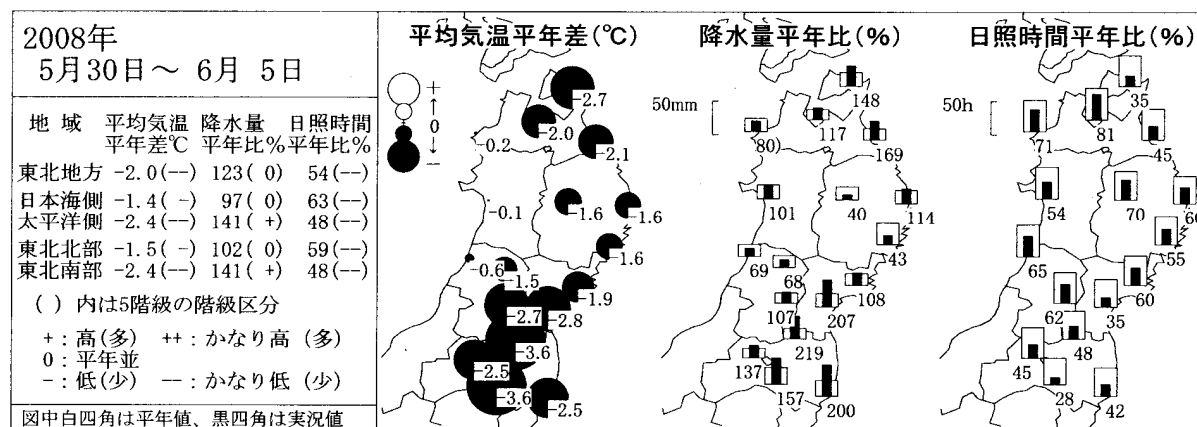
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（5月30日～6月5日）の天候の経過

この期間、高気圧が東北地方より北をとおり、北高型の気圧配置となる日が多く、南岸低気圧や気圧の谷の影響も受けたため、曇りや雨の日が多かった。また、寒気が東北地方に流入したため、期間の前半を中心に気温のかなり低い日が多かった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)